



自治会長：

世帯数： 121

会長より一言

New!

更新 H30-5-19

やよい会自治会便り

[yayoi.4m-3m.htm へのリンク](#)

>>> やよい会自治会便りは頻繁に追加更新しております

す

滝の沢地区自治会長連絡会 [takinosawa-1.htm へのリンク](#)

小出地区自治会連合会 [koidejiiikai-1.html へのリンク](#)

やよい会自治会は茅ヶ崎市の住民108世帯と藤沢市の住民13世帯の混成の自治会で、戸建て住宅121世帯の小規模な自治会です。環境は、

湘南ライフタウンの西北部で建築協定のある美しい街並みで緑も多く落ち着いた雰囲気の地域です。

やよい会自治会は発足して38年経過し高齢化が進みましたが、自治会活動サポーター制度と自主防災サポーター制度を作り、前向きに自治会

活動を行っております。**7期連続で自治会長を務めております。**

茅ヶ崎市と藤沢市の市境上に住んでいるため、いざ**大地震のような災害発生時**には、滝の沢小学校に避難して、**滝の沢地区13自治会の住民の**

皆さんと共に避難生活をしなければなりません。そのために常日頃から藤沢地区の方々と、各種レクリエーション大会や夏まつり(盆おどり)に参加

して、顔見知りになっておく必要があります。そのために自治会としてはサポーター制度を活用して、より効果的な交流を進めてまいります。

防犯に強い街づくりをしよう！！とボランティアによるパトロールが行われております。

H25年は防災に強い街づくりのために、自主防災隊と防災サポーター制度を立上、自助・共助の体制を構築しました。

大地震の時は3日間(72時間)が大事、自分の命は自分で守り、生き延びることです。そして、家族を救い、近所を救い、助けあって支援を待つことです。そして生き延びた人たちが立ち上げるのが、自治会で行える「自主防災組織」なのです。

これからの**自治会活動**のポイントは、 **>** やはり**超超高齢化にどう対処**するかです

① 自治会活動サポーター制度の導入・・・輪番で担当せざるをえない「高齢の自治会役員」を側面からサポートして、自治会活動を活性化させる。・・・実施済み

② さらなる10年後(超超高齢化)のためには、自治会のあり方を見直さなければなりません。

H29年は、新に勉強会を発足させて、斬新な自治会の姿に変身させられるように、皆さんと検討を開始しました。

H30年の総会で高齢化時代の自治会活動の在り方が提案され、H31年から施行されることになりました。

* 防犯交通安全活動 ⇒ やよい自主防災隊へ移管

* 夏まつり活動 ⇒ やよい健友くらぶへ移管

* レクリエーション活動 ⇒ やよい健友くらぶへ移管

当自治会を支えているのは、昔の老人クラブ(寿会)を改革して、新しく発足させた「健友くらぶ」の仲間達です。

健友くらぶの会員は、自治会住民全員(子どもからお年寄りまで)ですが、特に**元気なシニア達**が中心となって

各種の遊びを企画し、参加を呼びかけ(全ての行事のチラシを全戸配付)、束ねて実行する。また盛り上がるの

は終って自治会館に戻ってから、「割勘」で行うパーティ(飲み会・食事会)です、勿論「男の腕まくり」が大活躍です。

女性群は飲んで食べて楽しんでます・・・たまには後かたづけしますよ。

> **元気なシニアの皆さんに、自治会活動サポーターとして活躍して頂く**ことです。